VOL. 18

安全・安心・快適なカーライフを提供。

with LIFE



「まだ大丈夫」は危険信号？
今こそ考える、クルマの水害対策。

近年、全国各地で突発的な台風や大雨による水害が増えており、私たちの社会生活に多大な影響を及ぼしています。

いつ、どんな時に起こるか分からない水害は、普段何気なく利用している車に深刻なダメージを与えます。浸水の程度や車種、水質などによって被害は異なりますが、マフラーより上の高さまで長時間浸水すると、最悪の場合、廃車になる恐れがあります。たとえ修理したとしても、一度水没車となってしまうと金属部分の腐食や電気系統のトラブル、エンジンの故障が発生しやすくなり、走行中の不具合や思わぬ事故にも繋がりかねません。

こういった車の水害トラブルを防ぐには、常日頃からの意識と対策が大切です。例えば、普段運転する道路の周辺環境を把握し、大雨の際は冠水する可能性の高いアンダーパスや低い土地の走行は避けましょう。地方自治体が作成しているハザードマップで浸水が想定される範囲、避難経路や避難所を確認しておくことも重要です。近年のゲリラ豪雨は急激に水かさが増すことがあるので、付近の立体駐車場や高台に車を移動させることも有効な対策です。

万が一、車が浸水（冠水）した場合はすぐにエンジンを止め、水位が上がって車内に閉じ込められる前に避難をしましょう。水圧でドアが開かない時は窓ガラスを割っての脱出になりますが、頑丈な合わせガラスが使用されているフロントではなく、比較的安全に破砕できるドア側を割ることが基本です。また、窓ガラスを割るための脱出ハンマーを運転席から手の届く範囲に置いておくと安心です。

水害は、日本全国どんな場所に住んでいても被害にあう可能性があります。「いつも通っているから」「まだ大丈夫」といったわずかな油断が、重大なトラブルに繋がる恐れがあります。そうならないためにも、いざという時に自分や同乗者の命を守るため、車の水害対策について考えてみてはいかがでしょうか。

This season's pickup!

日差しと汚れで疲れた愛車
未塗装樹脂パーツ保護で「キレイ」を保つ

未塗装樹脂パーツ劣化の原因

車の未塗装樹脂パーツは夏場の強い紫外線や熱・酸性雨等の影響により、白化（白ボケ）や色褪せ・ひび割れが進行しやすく目立ちやすい箇所です。車の美観を保つためには、パーツ劣化の放置は禁物です。

車全体が古びた印象になるのを防ぐためにも、日々の適切なケアによる確実な予防が大切です。





こまめな洗車

週に1度のシャンプー洗車で汚れを溜めにくくする。



車も「日よけ」を意識する

日陰や車庫に駐車、屋外駐車の時は紫外線カット効果のある専用カバーを使用。



保護剤を使って劣化の原因を防ぐ

保護剤の使用で汚れが付きにくくなり、定期的な洗車も簡単に！

普段からできる、劣化予防メンテナンス

まずは定期的な洗車。雨水や泥汚れは素材が腐食する原因となるので、なるべく早めに落とし、駐車時は日陰や屋根のある場所を選びましょう。また、車用カバーを使用することで劣化の予防に繋がります。さらに、専用保護剤で未塗装樹脂パーツに保護膜を作り、紫外線カットや酸性雨、汚れの付着を抑制することも可能です。



未塗装樹脂パーツの保護・光沢剤

ルミナブラックコート



内 容 量：10ml
使用方法：スポンジに取り、樹脂表面へ均一に塗り込んでください。
持続期間：1年
容器仕様：遮光瓶（スポンジ、不織布付属／各5個）
注意事項：直射日光の当たる所や施工箇所が高温時は使用しないでください。


コーティングイメージ

樹脂の黒を呼び戻す。
塗るほどに深まる、芯からの艶。

樹脂の凹凸に浸透・密着し、白化を黒く復元。
保護膜が紫外線による劣化を抑制、美しい黒艶を長時間持続。

▸ 復元性

樹脂の分子構造に深く馴染むことで、素材本来の深い黒色を新車時のような質感で呼び戻します。

▸ 美観性

樹脂本来のマットな質感やシボの風合いを損なわず、光の当たり方で表情を変える、奥行きのある美しい外観を演出します。

▸ 耐久性

高い防汚効果で汚れの付着を低減、紫外線による劣化も抑制。施工後の「深みのある黒」が長期間にわたり持続します。

Nihon Mobility Service 日本モビリティサービス株式会社　KYOKUTO 株式会社キョクトー